

2012

広報

# おばま 8

## 《表紙》

炎天下の下、市内各保育園・幼稚園で「プール遊び」が行われました。小浜幼稚園では、41人の園児が、『気持ちいい〜』などと歓声を上げながら、水をかけ合ったり、思い思いに泳いだりと、大はしゃぎでした。  
(7月17日)

【特集】 あなたも結婚を真剣に  
考えてみませんか





小浜市は「婚活」を応援します

あなたも結婚を真剣に  
考えてみませんか



皆さんは「婚活」という言葉をご存じでしょうか。  
「婚活」とは、「結婚活動」の略称で、結婚のために積極的な活動をする事。最近よく耳にするようになりました。

日本の平均初婚年齢は今や男性で30.4歳、女性で28.6歳となっており、晩婚化が大きな社会問題になっています。小浜市でも、未婚率は年々上昇し、出生数は低下傾向にあります。

今回は、そんな本市を取り巻く結婚事情について考え、小浜市が取り組む婚活支援を紹介します。

■問い合わせ 社会福祉課 ☎内線 189

## 小浜市の結婚事情

30歳以上の未婚者が急増

昭和60年頃と比べて、30歳以上の男女の晩婚化と未婚者（一度も結婚していない人）が増えていることが顕著に表れています（図1）。  
45～54歳の未婚者は男性が21.1%、女性が5.6%で、男性は県内で唯一全国平均を超えています。  
また、30歳以上の未婚者の人数は、男女合わせて、昭和60年の1000人前後であったのが、平成22年には約2600人と大幅に増えています（図2）。

未婚率の上昇⇨出生数の減少

本市の出生数は、昭和55年には400人程度でしたが、その後減少していき、平成17年頃からは260人程度で推移しています（図3）。また、昭和60年に約7000人いた15歳未満の子どもが平成22年には約4200人に減っています（図4）。未婚率のデータと照らし合わせると、未婚率の上昇とともに子どもの数が減少しており、出生数を増加させるためには、結婚率を上昇させることが重要です。

未婚率が上昇し続ける…

平成22年時点での65歳以上の未婚者は男女合わせて230人程度ですが、現状のまま推移した場合、20年後には800人前後になると推計されています。高齢の未婚者が増える、と、高齢の单身世帯が増え、こうした方々への対応が大きな課題となります。

また、子どもが1人生まれることで、一生の間に動くお金は3億円以上と言われています。このことから、このまま少子化が進むと、人口が減少し、地域経済もますます縮小することが懸念されます。

未婚率上昇の原因

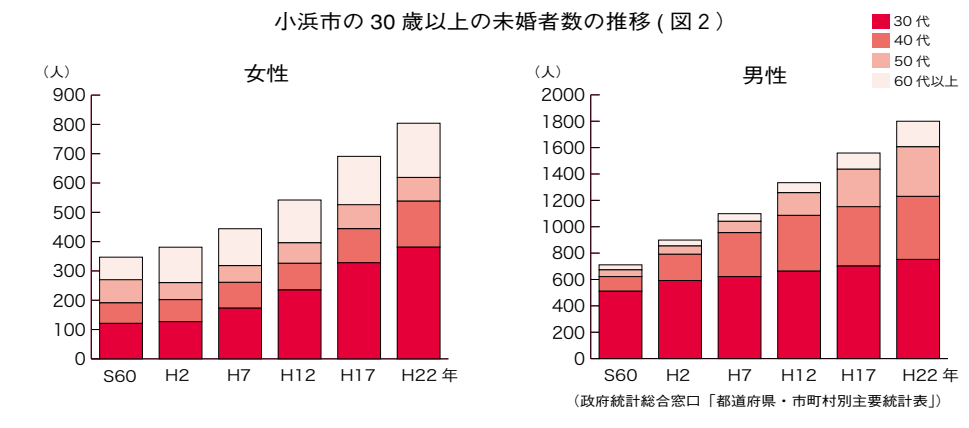
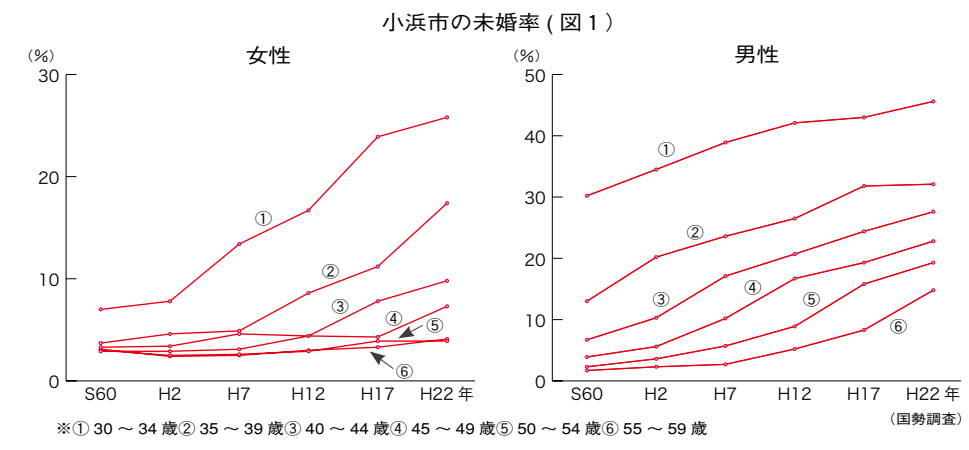
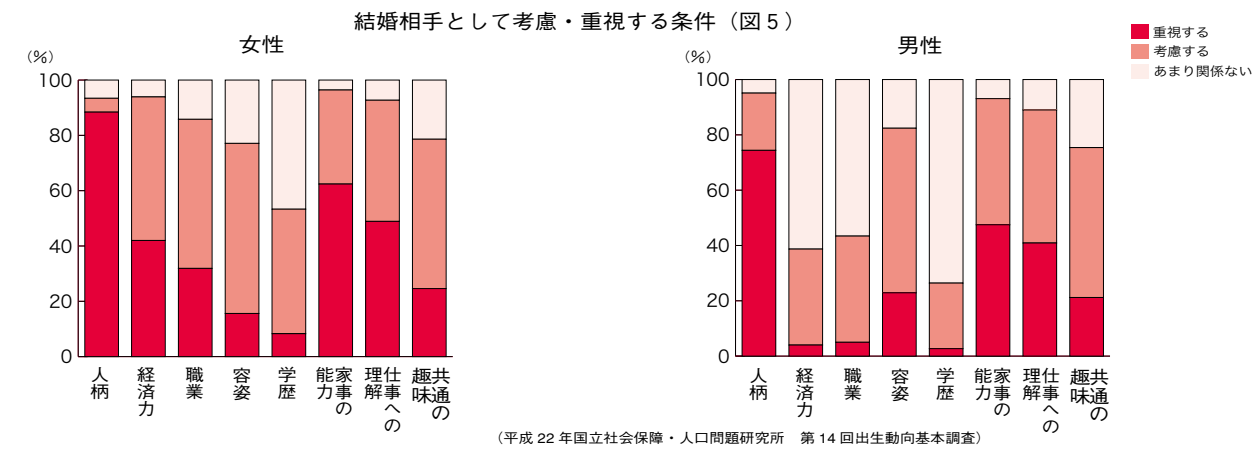
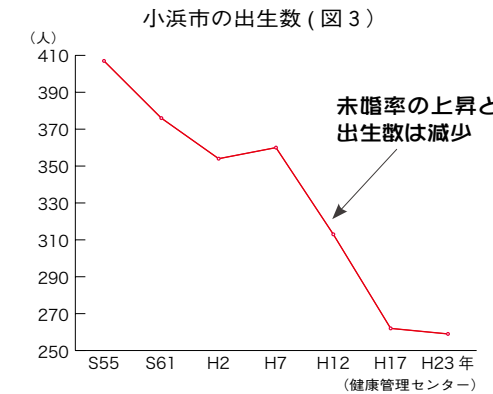
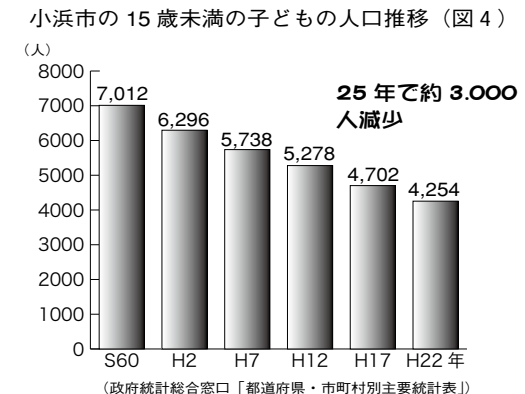
一般的に、経済状況や雇用状況が未婚率の上昇に大きく影響していると言われていますが、平成22年の国勢調査によると、小浜市の男性のパート・派遣社員は、福井県の平均値とほぼ同じ11.6%で、完全失業率も福井県の平均を下回っています。

図5は、国立人口問題研究所が平成22年に独身者へ行った調査結果です。女性では、「経済力」を重視するという回答の割合が、「人柄」、「家事の能力」、「仕事への理解」を下回っています。これらのことから、小浜市の男性の未婚率の高さと雇用・経済状況については、直接的な因果関係は薄いと考えられます。

また、図2からも分かるとおり小浜市の30～59歳の未婚者約2200人のうち、男性が1600人、女性が600人となっており、未婚男性の数が女性の2倍以上で、この不均衡が男性の未婚率上昇に影響を与えていると考えられます。

さらに、便利になった生活環境や価値観の多様化、親との同居なども影響し、20～30代では、結婚の必要に迫られずに、婚期を逃してしまうといったケースも考えられます。

## 統計からみる結婚事情





## 小浜市の 婚活支援

### 未婚者への支援が必要

これまで、「結婚は個人の主義主張である」として、独身者へのサポートは行政としてほとんど行ってきませんでした。このまま未婚者が増加していった場合、少子高齢化がますます進み、経済の縮小や、あらゆる分野での後継者不足が深刻な問題になると予想されます。

そのため、今後は行政の未婚者への支援が必要となります。

### 昨年度の婚活支援

昨年度は、出会いを応援するイベント「フレンドリーのつどい」を8月と11月に実施し、計64人の参加をいただきました。参加者からは、「たくさんの人と知り合えて楽しい時間を過ごすことができた」、「幅広い年齢の人と話ができて、良い経験になった」など、たくさんのご意見をいただきました。



釣り体験を楽しむ参加者たち（昨年8月・ブルーパーク阿納）

### 24年度の婚活支援

出会いの場だけでなく、未婚者が出会いを生かせるサポート体制を整えることが大切です。小浜市では、今年5月に、小浜市婦人福祉協議会や結婚支援のボランティアをしているメンバーを中心に、「OBAMAで愛（出会い）応援事業実行委員会」を立ち上げました。

現在は毎月1回、成婚率実績日本一（オリジナルワークシヨップ参加者の82%が結婚）の結婚総合プランナー本城稔さんを講師に招いて、独身男性を対象とした「OBAMA ENJOYサークル」活動を行っています。

ほかにも、9月と来年3月に婚活のイベントを予定しています。独身の方は、ぜひご参加ください。

この問題は、行政だけでは解決できません。地域の皆さんの幅広いご協力をお願いします。

県と連携！ 9月22日土・23日金開催！

### 小浜愛（心）タウン事業

募集期間：8月16日土～9月7日金

県外から独身女性を招いて、小浜の魅力・自身の魅力をPRし、楽しんでいただく1泊2日のイベントを開催します。

対象 市内在住または市内勤務の独身男性  
定員 20人（定員を超えた場合は抽選）  
参加費 1万円程度  
申し込み、問い合わせ 社会福祉課

### OBAMA ENJOY! サークル 参加者募集

内容 内面を磨き、思いを上手く伝えるための魅力アップ講座  
対象 独身男性  
とき 毎月1回（原則第3土曜日）  
料金 1回につき3,000円  
申し込み、問い合わせ 社会福祉課

実行委員会のメンバーも募集しています

### Interview

市内の就学児童数は、急激に減少しており、少子化が大きな問題になっています。（昭和40年の児童数3641人にに対し、現在は1680人まで減少）昔は、親や周囲の人たちが、結婚・出産を後押ししてくれましたが、今はとかく個人の問題として済まされがちです。少子化を社会全体の問題としてとらえ、みんなが危機感をもって取り組まなければならないと感じています。経済的な問題で結婚や出産をためらう人もいますが、今は医療費の助成など子育て支援も充実しています。結婚・出産に対して、もっと前向きに考えてほしいと思います。

9月22日・23日に一泊二日の婚活イベントを開催します。カップル成立に向けて、可能な限りサポートさせていただきますので、結婚を真剣に考えの方は、ぜひ参加してください。



OBAMAで愛（出会い）応援事業実行委員 桂田 定樹さん かつらだ・さだき

## 僕らは

## 婚活イベント

## で出会ったんです

平成17年に、婚活のイベントで出会い、結婚した知見夫妻。出会いから結婚まで、また、2人にとって婚活とは、どのようなものだったのでしょうか。



平成17年の婚活イベントで、近くにいた奥様に、ご主人が声をかけたのがきっかけだそうです。最初のお互いの印象は？

男 優しいそうだなという印象でした。

女 婚活イベントに参加しようと思ったきっかけは？

男 結婚相談所の相談員の勧めで参加しました。

女 母親に勧められ、友人と一緒に参加しました。

男 出会いから結婚までは？

女 2カ月つきあってから妻の両親にあいさつに行きました。結婚は出会ってから約11カ月後。お互い結婚を意識していたから早かったんだと思います。

男 最近よく耳にする「婚活」についてどう思いますか。

女 何事も積極的にやってみていかないとチャンスは訪れないと思います。小浜のような小さな町では、特にそうだと思います。

男 婚活イベントに参加することに抵抗を感じなかったですか。

女 抵抗を感じているうちは前に進めないと思います。その点は割り切

### 勇気をもって一歩踏み出してほしい



市内で理髪店を営む知見新悟さん（左）と妻の美香さん。

るということが大切だと思いました。結婚してよかったこと、変わったことがあればお願いします。

男 家族が増えたことは単純にうれしいですね。パートナーができれば自分の体感時間が2倍に増え、子どもが増えれば、さらに3倍、4倍と増えます。

女 最後に、現在婚活中またはこれから婚活を始めようと思っている人たちにメッセージをお願いします。

男 毎日の生活の中で、何もしなければ出会いは訪れません。ですから、勇気をもって一歩踏み出してほしいですね。幸い今は婚活のイベントも定期的に開催されています。そういったものをどんどん活用していただければいいですね。また、自分をオープンに出さない限り相手もオープンにはなってくれません。何事もやはり「積極的に」が大切ですね。